

マックスバリュ東海による

移動スーパー

が始まりました



出発式でのテープカット



崎平区で買い物をする町民

出発式には藪田町長と区長連絡会の山下会長が来賓として招かれました。藪田町長は「商品を手にとって選ぶことができる買い物の楽しみはいつでも元気であることができる秘訣」と話し、山下会長は「地域のコミュニケーションの機会が減っている中、こうした移動スーパーの参入は、より安心して暮らせるまちづくりの一助となる」と期待を寄せました。

暮らしやすいまちを目指して

町に声が掛かったのは今年の5月のことでした。静岡市の中山間地である「オクシズ」で移動スーパーを展開するマックスバリュ東海と静岡市中山間地振興課の職員が訪れました。

浜松市天竜区に続き、オクシズは早期に事業展開を決め、交通手段を持たない高齢者の皆さんに大好評であるとの紹介を受けました。当町でも運転免許返納などで交通手段がなく買い物に困っているという声を聞きます。

困っている町民の手助けとなり、いつまでも暮らし続けられる地域を目指して町も事業展開に協力することになりました。

26地区64拠点でスタート

当事業開始に当たり、7月の区長連絡会で事業説明を行い、各地区における受入の可否や、移動スーパーの販売拠点の候補地を伺いました。

その結果、近くに商店がある地区など除き、26地区から実施希望の回答がありました。マックスバリュ東海では商工会や商店、先行して事業展開していた「とくし丸」に配慮してあいさつを行い自主事業として展開します。

地区要望に基づき64拠点でスタートしますが、今後地域の声聞きながら調整していくとのことでした。

町民の憩いの場として

買い物の楽しさに加え、販売拠点では地域住民のコミュニケーションの場として賑わっています。出発式後の火曜コースでは、到着5分前から町民が集まりだし、会話が花が咲き、あちこちで笑顔が見られました。

国の調査では、買い物に行くという外出機会の創出はコミュニティの希薄化を避けるためにも重要だと報告されています。移動スーパーは1拠点当たり約15分間滞在し、刺身やデリカ・ベーカーリーなど約500種類の商品が積み込まれていて、積んでいない商品の注文も受けてくれます。今後、町とマックスバリュ東海は、買い物支援と高齢者等の見守りの観点から協定締結も視野に連携していきます。

Interview～地域とつながる希望あふれる～



ごじょう 五條 ふみさん(田代区)

お友達と楽しく買い物ができる

数年前に車の免許を返納してから、買い物に行く機会が少なくなりました。近くのスーパーに行くにも距離があるため移動手段に不都合を感じていました。しかし、移動スーパーが自宅のすぐそばまで来てくれることで、お買い物がとても楽になりました。

また、新鮮なお魚やお野菜など商品の種類がとても多く、買い物をしながら地域のお友達とお話しもでき、楽しくお買い物ができることを魅力的に感じて、うれしく思います。



まつした やおこ 松下 八百子さん(柳三区)

生鮮品から日用品まで何でも揃う

車を持っていないため、普段は近隣に住む兄弟や、子どもが帰った時に街まで買い物に連れて行ってもらっています。

自宅から徒歩圏内に移動スーパーが来てくれるのでとても助かります。特に、夏場は遠くまで買い物に行くと、鮮魚などの生鮮品や冷凍物が心配なこともありましたが、移動スーパーで買うことができれば自宅まですぐに持ち運ぶことができるので、とてもありがたいです。そのほかにもおかずや日用品など品揃えも豊富で魅力的に感じました。